

(別紙5)

整理番号 2021P-273
補助事業名 2021年度 被災地域および被災者受入地域における支援拠点、ネットワークづくり活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

東日本大震災の避難者（福島県）の避難生活が長期化するにつれ、公的な支援は減り、生活面での変化も著しく発生するケースが多くなっている。そのため、本事業では福島県人同士で話ができるコミュニティの維持、顔を合わせる機会を作るためのイベント、孤立化防止のためのサロンや訪問などを実施し、安定的な自立した生活を送れるようにするサポートを行うとともに、今後の生活の変化、帰還、定住の選択など、安定した精神状態で判断ができるようサポートしていく。取り残される人を一人も出さないことを目標に実施。

(2) 実施内容

福島こころの公民館事業 (URL <https://kakehasi.jpn.org/works/>)

- ・福島こころの公民館（通称：ふっこ）交流拠点として運営
- ・おしゃべりサロンの開催（同拠点にて）
- ・シニアサロンの開催（同拠点にて）
- ・各種イベントを開催（料理教室など）
- ・情報紙の発行（毎月2回山形市内と周辺地域の避難者へ配布）
- ・戸別訪問の実施（気になる世帯や、仕事で利用できない方を訪問）
- ・夏休み子どもの預かり実施（学童が休みの世帯など、同拠点で預かった）



おしゃべりサロンの様子（10/20）



味噌づくりイベントの様子（2/3）

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

- ・避難者世帯は元々知り合いがいない土地で生活しており、更に新型コロナの影響で、数少ない人と接する機会も減り、孤立化しそうな方が相当数見受けられたが、本事業において、集まる機会を創出し、また集まる事が出来ない方を訪問するなど、避難者にとってのセーフティネットとして十分な機能を発揮する事ができた。
- ・更に、家族が濃厚接触者になったり、感染者が発生したりした世帯に対し、支援物資を提供するなどタイムリーな支援を行う事ができた。
- ・今後は今まで以上に「駆け込み寺」としての存在感を発揮し、まだ利用実績のない避難者や、県内の遠方の地域の避難者の利用促進が図られるものと考えている。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

特になし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

情報紙 ふっこからの風 月2回発行

(URL http://kakehasi.jpn.org/publishing_type/fuccowind/)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク
(トクヒ ヤマガタキズナノカケハシネットワーク)

住所： 〒991-0031

山形県寒河江市本町二丁目8-3 フローラSAGAE 2階

代表者： 代表理事 早坂 信一 (ハヤサカ シンイチ)

担当者名： 代表理事 早坂 信一 (ハヤサカ シンイチ)

電話番号： 0237-85-1070

F A X： 0237-85-1071

E-mail: s-hayasaka@kakehasi.jpn.org

U R L: <http://kakehasi.jpn.org>